

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価・記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない(8) D. ほとんどできていない(3)	地域に開かれた地域住民との交流の機会もここしばらく途絶えてきたが、地域の方に来て頂ける様な行事も少しずつ工夫してきている。今後地域に開かれた施設としての行事を進めていきたい			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている(2) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(7)	以前あった認知症カフェの再開や認知症サポーター養成講座への協力等も現在準備をやっと始めることが出来た。	感染症の状況なども見ながらはなるが、地域のか谷足を運んで頂ける様な催しを開催していきたい。		

3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている(3) C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(2)	・運営推進会議で出された関係者からの貴重な意見を職員全体で共有できていなかった。	熱心な運営推進委員の方々が居られるのでしっかりとご意見を伺いながら内容を全職員で共有し実行していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている(4) C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(1)	・管轄の地域包括支援センター、認知症地域支援推進員と連携を図って、利用者様の情報共有を行うことが出来た。	これまではあまり参加できなかった地域包括の方や行政の主催する研修や会合などに、今後は積極的に参加していく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・身体拘束研修を全スタッフ年間プログラムの中で受講して、虐待防止、身体拘束をしないケア実践を把握理解している。また、定期的に不適切なケア、声かけ、虐待の有無について定期的な会議（コアタイム会議）でチェックをしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待の内容や知らずのうち虐待に繋がらないか、定期的な研修、ミーティング、会議等でスタッフ間にて点検を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている(3) C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(2)	現在成年後見人を立てている利用者がおらず、職員が接する機会が無いため今後も研修等で周知する必要がある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(3) D. ほとんどできていない	契約事項の改訂や内容等についても、入居時の手続き時にはご家族の方への説明と同意を行い、契約締結を行っている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている(5) C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない	・利用者家族からの要望希望等に常時耳を傾けている。それらが出た場合は、月1回のコアタイム会議への議題に挙げて、協議を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ①	運営委員会にもっと家族の方の参加を増やすと良いと思います
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている (1) B. ほぼできている (4) C. あまりできていない (5) D. ほとんどできていない(1)	・職員間の要望希望等も月1回のコアタイム会議等の機会に議題として挙げて、協議を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている(1) C. あまりできていない (6) D. ほとんどできていない (4)	・月1回のコアタイム会議の中で、個々の職員の要望希望等を募り、協議事項で提案を行う事がある。こうした貴重な機会に全職員が参加をして、働き方改革を進めていく必要がある		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ①	職員の方がだいぶ変わられているのでこれからも職場環境の整備は必要かと思います。

12	職員を育てる 取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (8) D. ほとんどできていない	・人材定着が十分機能せず、人材育成には繋がっていないと捉える。引き続き離職者の退職理由を分析し、どうすれば定着できるか内容を吟味精査し、改善していく必要がある		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修の話など何うと良く出来ているのでは、と思います
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている(5) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (6) D. ほとんどできていない	・同グループ内のスタッフ間交流も盛んになりなっている。今後は外部研修等に積極的に参加をして、同業同職種の方との交流の機会を持つ事が、ケアの質向上、活性化に繋がるものと捉える			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (6) C. あまりできていない (5) D. ほとんどできていない	・支援者と利用者という関係性ではなく、同じ仲間としての関係構築について、職員間で意識の統一を図る必要がある。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている (2) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (7) D. ほとんどできていない(2)	・ご家族以外に本人に関係する友人、知人等との交流の機会をある程度持つことが出来ているが利用者様は限られていた。	感染症の状況を見ながらも以前の生活していた場所などへの外出の機会を増やしていくような工夫をしていく		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている (1) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (6) <input type="radio"/> C. あまりできていない (4) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月誕生日会と合わせてよくしよう会を開催し、ご利用者への要望希望を伺う機会として開催している。今後ご利用者の意思決定支援を礎に日常のケアを実施していく			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (7) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない(1)	・月1回コアタイム会議でスタッフとケアプランの内容である個別援助内容について協議を行っている。また月1回理学療法士(PT)の訪問で生活リハビリ、身体機能面へのアプローチについてアドバイスを頂いて、ケアプランの見直しを図っている	ケアプランの内容が伝わっていない職員に対して個別の指導が必要。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	説明通りかと思いますがよく分からないこともありました
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (7) <input type="radio"/> C. あまりできていない (4) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新たに導入した見守り機器屋通信機器を活用すると共に iPad による入力を行い、日常のケア記録を行っている。また、申し送り事項や過去のデータ分析を行う事で、日常のケア改善に繋がっている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (2) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (8) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない(1)	新たに導入した ICT 機器を活用していく、認知症対応型の施設としての強みを活かした社会資源機能も有効活用されていない。(認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等)	新たな ICT 危機（眠りスキャン、眠りスキャンアイ、インカム等を全ての職員が使いこなせるように研修が必要		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(6) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない (2)	・地域との協働は十分機能していなかった。今後は、感染症に対する細心の注意を払いながらも地域の社会資源と協働していく取り組みは課題である	徐々にではあるものの地域とのつながりの機会は持て始めている。今後も更に広げていく必要がある。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている (2) B. ほぼできている (8) C. あまりできていない (1) D. ほとんどできていない	・定期的な月1回の往診を行ってもらい、必要時には緊急の連絡を行い、専門医の紹介等を行ってもらっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている (1) B. ほぼできている (6) C. あまりできていない (4) D. ほとんどできていない	・入院時は担当者と必要な情報提供を行い、退院時は必要な情報提供を受け取る事で、利用者のスムーズな受け入れに繋がっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている (9) C. あまりできていない (3) D. ほとんどできていない	・看取り期にさしかかった段階でICC(終末期の生活における計画書)を主治医、ご家族、事業所の3者面談を行い、それに基づいたケアプランを作成している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている (8) C. あまりできていない (3) D. ほとんどできていない	救急救命講習会を全スタッフ受講し、迅速な対応が図れるよう改善を試みている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている (3) C. あまりできていない (5) D. ほとんどできていない (3)	・BCP(業務継続計画)を元に、非常時の対策を立ててはいる。実際に初動対応を含めて、全スタッフが迅速な対応が図れるよう訓練を実施している。想定した訓練を実施し、非常時への対応に備える体制を整える事を継続中である	地域の一時避難場所としての認識を職員全体に周知すると共に、今後は福祉避難所のこと視野に入れ検討していく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内の一時避難場所なので理事会との連携体制を整えてほしい

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている (7) C. あまりできていない (3) D. ほとんどできていない	・研修などを通して、日常の排泄ケアを含め、全スタッフ間で羞恥心の配慮を始めとしたプライバシーの確保といったケアの点検が急務である		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの問題は利用者さんそれぞれ大変なことも多いと思います
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている (6) C. あまりできていない(5) D. ほとんどできていない	・画一的なタイムスケジュールになっていて、まだ一人一人の個別なその人らしい支援には至っていないのが課題である			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている (5) C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない	月1回のよくしよう会開催時に食事等の要望希望を全利用者に確認している。食器拭き等は一部の利用者で行えているが、調理には参加が出来ていない		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おいしそうな匂いもすることが有是非一度見てみたいと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている (5) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(2)	新たに導入された ICT 機器や iPad 端末入力を行い、日常の水分、食事摂取量の記録を行い、把握に努めている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている (6) C. あまりできていない (4) D. ほとんどできていない(1)	・毎食後の口腔ケアを必ず行ってはいるが、磨き残しや口臭、歯周病の発生に至ったりしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思います
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている (8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない	・その方の ADL に合ったパットの選定を月1回のコアタイム会議で協議検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思います

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている (2) <input type="radio"/> B. ほぼできている(4) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (5) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ハード面での限界等があり、重度の利用者には浴槽に浸かる事が難しい。浴槽、浴室の改修を計画しており入浴が楽しめるよう模索している			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている(1) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (9) <input type="radio"/> C. あまりできていない (1) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・前述の夜間入浴を含めたナイトケアやリラクゼーションケア等への試みには至っていないのが現状である			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (4) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (7) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・誤薬等の防止のため、職員のダブルチェックを徹底しており、配薬時のミスを防いでいる。一人一人の服薬内容についてはまだまだ職員の研鑽が必要		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている(2) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(3)	・個別のケース担当による役割支援等へのアプローチには本人の要望も伺いながら試行錯誤している	今後も本人の要望や出来ることを探りながら楽しみを見つけていく。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている(2) C. あまりできていない(2) <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない(8)	外出行事参加もここ最近行われており今後も継続していく	職員配置も考えながら季節に合わせて地域行事も含めて様々な外出支援を行っていきたい		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている C. あまりできていない(1) <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない(9)	・こうした利用者の買い物支援や外食等の支援はまだ試みられていない			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(3)	・ご家族からの電話の取次ぎにより、直接ご家族とお話をされたりする機会を定期的にとっている方も居られる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている(5) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(1)	・徐々に改善されているものの、フロア内の装飾等は以前のまま変わり映えのない状態となっているのが現状である	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の皆さんが良く挨拶をされることと、利用者さんが笑顔なのはとても印象的です。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしが できている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (7) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない(1)	<p>・本人の趣味嗜好、生活歴、ご家族からの聞き取り、意思決定支援等のアプローチにより今後の援助方針を立てていく試みが必要である</p>			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることが できている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (6) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない(2)	<p>・十分なアセスメントができていない。もっと本人に向き合い、表面的なケアプランではなく、本人に寄り添った核心をついたプラン作成が課題である</p>			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることが できている	<input type="radio"/> A. 十分にできている(1) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (9) <input type="radio"/> C. あまりできていない (1) <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・優先順位として、ご本人の健康管理に焦点をあてたケアプランを作成している。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	説明通りかと思えます

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている (5) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (5) D. ほとんどできていない(1)	・施設での画一的な生活で日常生活を送られており、今後改善をしていく課題がある			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている(1) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (6) C. あまりできていない (4) D. ほとんどできていない	・できるだけご本人の意向を尊重して、ご家族の方にその意向をお伝えをして必要な物品は持って来て頂くよう依頼をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明通りかと思います
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている (3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない (5) D. ほとんどできていない (3)	・徐々にではあるものの外出することができるようになってきた。今後は感染対策に細心の注意を払いながら、地域行事への参加等も検討していく	職員配置も考えながら季節に合わせて地域行事も含めて様々な外出支援を行っていきたい		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている(2) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(6) D. ほとんどできていない(3)	・十分安全面に配慮しながら本人の嗜好や能力を勘案しながら、出来ることや楽しめる事は無理のない範囲で行ってもらっている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(3) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(5) D. ほとんどできていない(1)	・できる範囲で、本人が無理なく行える事や活動にも参加をしてもらっている		A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事でお見かけすることが少ないので今後はもっと参加していただきたいです。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている(1) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(8)	感染症対策にも十分細心の注意を払いながら、こうした活動も継続している	職員配置も考えながら季節に合わせて地域行事も含めて様々な外出支援を行っていき、出来る事を徐々に勤めていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている(4) <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない(5) D. ほとんどできていない(2)	職員体制を整え日々勉強していきながらより良いケアを行えるように努力しています。ICT 機器なども積極的に導入し利用者様の安心安全な生活に繋がるように努めています	日々進歩していけるように、それが利用者様の幸せに繋がるように今後も精進していきます。ご協力宜しくお願いします。	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大変努力されているのが伝わってきます。職員の方がだいぶ変わられているので大変かと思いますがこれからも利用者さん、併せて地域の方のためにも宜しくお願いします。